

## みらいの県土研究会地域部会（下田地域）

### 議 事 要 旨

日 時 : 令和6年12月11日(水) 9:30~10:40

場 所 : 下田総合庁舎2階 第8会議室

出席者 : 別紙出席者名簿のとおり

議事次第に基づき技術調査課から説明を行った。

発言者からの主な意見は以下の通り。

#### 【情報共有】

- 1 静岡県における建設発生土リサイクルへの取組
- 2 建設発生土の適正処理に向けて
- 3 関係団体、各事業者の業務紹介  
※建設発生土に関する意見等を記載

#### ○下田建設業協会

- ・ 建設発生土の処理に関して、協会としての取組は検討している状況。
- 4 関係団体、各事業者の業務紹介  
※建設発生土に関する意見等を記載

#### ○下田土木事務所

- ・ 下田土木発注工事における昨年度の状況について、発生土42,200m<sup>3</sup>に対して有効利用が17,500m<sup>3</sup>で、24,700m<sup>3</sup>を最終処分している。地形が急峻で、有効利用できる現場が少ないことから、有効利用率43%となっている。
- ・ 現在実施中の事業の中で、なるべく盛土を取り入れて発生土の抑制を考えていきたい。
- ・ 下田、松崎、手石、稲取等の浚渫工事については、盛土の基準に合致しないため、海洋投棄で対応している状況。

#### ○賀茂農林事務所（農地）

- ・ 管内が非常に急峻で小規模な農地が多いので、盛土により、平坦な農地を創設する計画を行っている。盛土材として、国交省の伊豆縦貫道の発生土や下田土木の発生土を活用して計画を進めている。
- ・ 松崎町の小山地区では、8,000m<sup>3</sup>の搬入土量に対し、国交省から5,000m<sup>3</sup>、下田土木から3,000m<sup>3</sup>を搬入して整備を進めている。

- ・ 南伊豆町の竹麻地区では、国交省で仮橋を架けたので、12月から90,000m<sup>3</sup>の土砂を搬入する予定。
- ・ 現在、河津町内と東伊豆町内に各2箇所伊豆縦貫道の発生土を活用した農地の基盤整備の計画を調整している。また、南伊豆町内での計画については、伊豆縦貫道の発生土を入れる計画と同時に下田土木との発生土調整を進めて、早期の事業完成を図りたい。

#### ○賀茂農林事務所（森林）

- ・ 林道は基本、切った土を盛土材として使用する現場内利用の考え方で、切土は同一路線内の路体盛土材、作業用施設の盛土材、補強土壁の中詰め材などとして利用している。

#### ○下田市

- ・ 現在、比較的小規模な道路河川の維持管理工事をメインで行っている。
- ・ 下田土木との包括管理業務については、維持管理をメインに行っているが、比較的小規模な工事を行っている中でも発生土の処分に課題がある。

#### ○東伊豆町

- ・ 町道、林道、農道、漁港と管理している施設は大きい維持管理がメインである。

#### ○河津町

- ・ 橋梁関係の維持修繕と道路施設の側溝の修繕が多く、発生土が多く出るような工事はない。また、町でストックヤードを持っていて、小規模の発生土はそこに入れていく。
- ・ 直近の駐車場施設の整備では、現場内で土質改良を行って発生土を少なくする対応をした。

#### ○南伊豆町

- ・ 河川と道路の維持修繕などが多く、特に大きな発生土が出る事業も計画もない。

#### ○松崎町

- ・ 道路河川の維持修繕工事がメインである。建設発生土は、民間の農地造成に搬出して処分している状況。
- ・ 今後、盛土規制法により、民間の受入れ先の減少が予想され、町としても処分場の確保の検討を考えたい。

## ○西伊豆町

- ・ 町では月原残土処理場 (A=11,895 m<sup>2</sup>、V=43,500m<sup>3</sup>) を整備し、今年の8月から受入れを開始した。町の発生土が約3,600m<sup>3</sup>/年と下田土木、賀茂農林の発生土を想定しており、5～10年位の受入れが可能だと考えている。
- ・ 受け入れを開始した残土処理場のほかに、伊豆縦貫道の残土受け入れのために、もう1箇所、残土処理場 (約17,000 m<sup>2</sup>) を整備したいと考えている

## 【意見交換】

- 1 下田土木事務所管内の建設発生土の状況
- 2 意見交換

### (1) 処理施設の受入れについて

#### ○恵比寿建設

- ・ 土木事務所の発注工事であれば、発注元証明書を用意して頂いて、スムーズに受け入れるが、少量の民間工事の土は、証明が難しいので断っているため、土の不法投棄に繋がらなければ良いと懸念している。

#### ○保坂

- ・ 現在、最終処分の形式で行っているが、埋立て完了後に登録ストックヤードと土質改良プラントとしての計画を考えている。
- ・ 下田土木と南伊豆町の発注工事の発生土を受入れているが、河川の浚渫土だと、水を含んだ泥土で状態が非常に悪いことが多い。そうなると処分場の中で乾燥させてから敷きならすといった順番に埋め戻さなければならない。
- ・ 設計書の中で、ただ処分費を計上するのではなく、想定している土質区分の明確化をお願いしたい。土質区分により受入れ価格も変わってくるし、処理方法も変わってくる。第1種～3種に比べて、泥土の場合、2倍程度の費用となっている。
- ・ 搬入時点での土質の状態がわかれば、処置ができるので、受入れ費用が下がってくると考えている。
- ・ 4種と泥土は、受入れ時に見た目の流動性や含水の状態を勘案して土質区分を判定している。

#### ○下田土木事務所

- ・ 施設に搬入前に脱水することで、処分費が安くなるのであれば、工事の進捗が図れると思うので、頂いた意見を所内で周知する。

## (2) 発生土の調整について

### ○技術調査課

- ・ 下田土木や各市町と発生土の調整は行っているか。また、賀茂農林では圃場整備を多く行っているが、第4種発生土の表土（耕作土）が不足していないか。

### ○賀茂農林事務所（農地）

- ・ 農地の基盤整備では、表土は非常に貴重な土で、整備の中で足りなくなるケースが多いため、表土が出る情報があれば調整を図らせて頂きたい。
- ・ 下田土木とは、発生土の調整を行っているが、各市町工事においても、別途、受入れ条件等の調整は必要であるが対応は可能である。

### ○下田建設業協会

- ・ 熱海の一件以来、民間でストックヤードを運営することが難しくなっている。各市町に公営のストックヤードがあればありがたい。
- ・ 残土処理場の跡地をストックヤードとして活用する計画もあるが、土質毎に置くとなると相当な面積が必要である。
- ・ 西伊豆地区の河川掘削に伴い発生する石について、今までは処分してきたが、多自然護岸等に使用できるので、分別してストックしておけば、有効利用できる。

### ○河津建設

- ・ 設計書に処分先を指定しているが、工事段階で搬出できないケースがある。設計段階で確実に受入れできる場所を指定していただきたい。
- ・ 県営の最終処分場で土砂を受け入れてもらえなかったが理由があれば知りたい。

### ○下田土木事務所

- ・ どの土木事務所でもあることで、発注準備の段階では受入れ出来ていても、入札契約の2カ月間のタイムラグで受入れ出来なくなってしまうケースがある。また、逆に受入れ出来なかった施設が受入れ再開したケースもある。
- ・ それとは別に、処理施設の受入れ状況を確認せずに設計することが無いように、所内で周知していきたい。
- ・ 県営の最終処分場は、受け入れ敷き均しを発注しているが、金額で全体の受け入れ量や、作業上、1日に受け入れできる量が限られている。現在、受け入れ量が多いため、受け入れ調整がうまくいかなかったのではないかと。

### ○保坂

- ・ 静岡県建設発生土マッチングシステム（SSM）での、賀茂地域でのマッチング件数を教えてほしい。

### ○技術調査課

- ・ 賀茂地域のマッチング件数は承知していないが、実情として、県が把握していないところで、マッチングが進んでいる。
- ・ 土質改良プラントの運営者がSSMの掲示板を活用して、直接連絡して土質改良土を搬出している事例もある。

# 第1回みらいの県土研究会地域部会

日時 令和6年12月11日（水）9時30分～

場所 下田総合庁舎2階第8会議室

## 次 第

### 1 開 会

○会の主旨説明【資料1】

### 2 情報共有

(1) 静岡県における建設発生土リサイクルへの取組【資料2】（技術調査課）

(2) 建設発生土の適正処理に向けて【資料3】（技術調査課）

(3) 関係団体、各事業者の業務紹介

(4) 県機関・市町の主要事業の紹介

### 3 意見交換

(1) 静岡県内の建設発生土の状況【資料4】（技術調査課）

(2) 意見交換

(3) まとめ

### 4 今後の予定（技術調査課）・閉会

## みらいの県土研究会 地域部会 出席者名簿

日時： 令和6年12月11日（水）9時30分～

場所： 下田総合庁舎2階 第8会議室

### 地域名：下田

機 関 名	所 属 名	職 名	氏 名	備 考
【静岡県（土木）】				
下田土木事務所	企画検査課	班長	鈴木一弘	
【静岡県（農林）】				
賀茂農林事務所	農村計画課	主査	吉田 大祐	農地
賀茂農林事務所	森林整備課	班長	吉崎 学	森林
【市町】				
下田市	建設課	係長	外岡 弘之	
河津町	建設課	係長	鈴木 弘之	
南伊豆町	地域整備課	主事	肥田 怜	
松崎町	産業建設課	係長	藤井 義巳	
西伊豆町	建設課	主幹	山本 文彦	
東伊豆町	建設整備課	係長	山田 勝之	
”	”	主査	森下 泉太	
”	”	主任技師	鈴木 順太	
【県建設業協会】				
下田建設業協会		理事	国本 正徳	
”		災害委員	藤井 隆人	
【関係業者】				
河津建設株式会社		常務取締役	河津 元	
【リサイクル事業者】				
株式会社保坂		代表取締役	保坂 満久	
【処分場事業者】				
恵比寿建設株式会社			平山 邦弘	
【技術調査課】				
県交通基盤部	技術調査課	主幹兼総括主査	稲毛 純一	
”	”	主査	横田 千寛	
【県建設業協会】				
(一社)静岡県建設業協会		専務理事	石野 好彦	事務局